

皆さんこんにちは。
埼玉県、産業支援課の神野と申します。

今日はお忙しい中、こちら、オープンイノベーションセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございます。
今日のこの会場、素晴らしい会場、武蔵野銀行さんのご協力で準備させていただきました。
誠にありがとうございます。

今日のセミナーは、我々が、令和6年度中に開設を準備しております、「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」、これに向けて、開設前のプレイベントの第1弾として開催させていただいたものでございます。

この渋沢サロン、どういったことを考えているかと言いますと、一つの柱として、オープンイノベーションを掲げている施設です。

なぜ、オープンイノベーションなのかと申しますと、今の企業を取り巻く現状、地球温暖化だとか、少子高齢化だとか、様々な問題が起きております。

そういった問題を解決するにあたって、自分たちの企業や、我々行政もそうですけれども、自分たちで持っているリソースだけでは、もう解決するのが難しくなってきていると。
従って、外の知恵や技術、そういったものを借りて、組み合わせで解決していかななくては行けない。
これがオープンイノベーションになっていくものです。

そこで、今度つくる渋沢サロンでは、様々な企業や起業家、スタートアップとか、それから、我々行政とか、それから金融機関さんとか、商工団体の皆様とか、そういったいわゆる事業をやっている方々、支援する方々、知恵を持っている方々が多く交流して、持ち寄った知識や技術、アイデア等を形にしていく、そういった場を作っていきたいと考えております。

そして、開設されて速やかにオープンイノベーションを掲げても、オープンイノベーションってなんだろうって尻込みされて、なかなか動き出すことができません。

速やかに動かすことができるよう、こういったセミナーを準備させていただいたものです。

さらに、この後、ワークショップ、具体的にオープンイノベーションどうやっていこうというものを、今度、学ぶ場についても、準備をしております。後ほどご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、第一部でオープンイノベーションの必要性や成功、失敗のポイントについてのインプットセミナー、第二部でオープンイノベーションに成功した企業によるトークセッションで、最後、名刺交換会で早速、皆様の交流を図っていただくということを考えております。

本日お集まりの皆様には、オープンイノベーションをぜひ、新規事業の開発のきっかけや、課題解決の手段として活用いただき、また、今回の交流の場、これをさらに延長して、ぜひ、この後、「渋沢栄一起業家サロン」にご参加いただければと思います。

結びに、皆様のますますのご活躍、ご健勝を心から祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。